

# NCCU NEWS

## 北海道総支部のみなさんへ

北海道総支部第136号

2020年4月16日発行

UA ゼンセン日本介護クラフトユニオン

発行人 北海道総支部長 芹生佳夫

編集人 同上

連絡先 090-5765-6007

# 新型コロナウイルス感染症対策 関係議員を通じさらなる対策を要請



日々の業務、お疲れ様です。

NCCUには、組合員からは日々相談や要望が寄せられており、労使による解決が困難な問題が多く、地方自治体の政策による支援がより一層求められています。そこで、15日 UAゼンセン組織内議員の篠田江里子札幌市議、平賀貴幸網走市議に、地方自治体の政策を通じた問題の早期解決に向けての要請を行いましたので、以下にて要請内容をご報告します。

### 1. 衛生用品について

依然として、マスク、消毒液、防護服などの衛生用品が不足または枯渇しており、通常入手ルートでの確保が出来ない状況が改善されていません。政府から布製マスクが配布されていますが、「枚数が一人1枚のみで洗い替えがない」「布製マスクはウイルスを透してしまうので不安」「マスクが小さくて小顔の人しか使えない」「利用者のマスクを洗う作業が負担になる」との声があり、マスク不足の解決には至っていないのが現実です。

また、中国製マスクの流通が始まっていますが、価格が高騰しており手の届く価格ではありません（新型コロナウイルス発生前は1枚当たり6円程度で調達出来ていましたが、現在は50円以上）。需給バランスにより価格が上下する市場原理による影響とはいえ、日常消耗品として受用できる価格の限界を超えているのが実態です。

医療・介護・福祉従事者は、患者や高齢者・障害者等と必然的に濃厚接触しなければならないにも関わらず、「感染するかも」「感染させるかも」という不安と闘いながら、日々仕事に従事しています。

したがって政府は、医療・介護・福祉従事者を最も高い優先順位で守るため、衛生用品の確保については、場当たりの対応ではなく、就業者数860万人（総務省労働力調査2020.02 医療・福祉）や使用頻度等を踏まえ科学的に必要な量を算出したうえで、安定供給に向けた強力で有効的な措置を継続的に講じるべきと考えます。

### 2. 学童保育、保育園の利用自粛・受け入れ制限による影響について

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて、学童保育および保育園の利用自粛や受け入れを制限する自治体があり、その影響で、子供の預け先がないため仕事を休まざるを得なくなり、マンパワー不足となっている介護事業所が発生しています。

また、保育園の利用を制限している地域の中には、受け入れ対象を保護者が警察・医療関係者のみと限定しているケースがあり、介護・福祉従事者は対象外とされているとの報告もあります。したがって政府は、すべての自治体に対し、学童保育、保育園において警察・医療関係者と同様に介護・福祉従事者についても優先的に受け入れる対象とするよう働きかけるべきと考えます。

UAゼンセン日本介護クラフトユニオン  
事務局長 染川朗

北海道総支部は、篠田議員、平賀議員との連携を図り、改善されるよう取り組みます。